

インドでも導入されたプラスチック規制

◆2022年までに使い捨てプラスチックの使用禁止を目指す

2018年6月5日、インドのモディ首相は、22年までにインド全土で使い捨てプラスチックの使用を禁止すると発表した。

インドでは、17年1月にデリー首都圏において50ミクロンより薄いビニール袋の使用が禁止されたが、厳格な取り締まりは行われておらず、実質的な影響は小さかった。

しかし、インド最大の都市ムンバイがあるマハラシュトラ州において、18年6月23日、使い捨てプラスチックの使用を規制する州法が施行された。この州法では、レジ袋や食品包装、使い捨ての食器などの使用が禁止されており、違反者には初回は約8,000円の罰金、常習的な違反者には約40,000円の罰金と3ヵ月の禁固刑が科せられる。ムンバイ市は取り締まりを強化しており、施行3日後の6月26日、マクドナルドやスターバックスなどファストフード店を中心とした132店舗で、違反を摘発したと発表している。

◆インド全土での使用禁止までには課題も多い

マハラシュトラ州では使い捨てプラスチック規制の厳格な運用が始まったが、インド全土での使用禁止までには紆余曲折が想定される。

インドでは州の権限が強く、連邦政府が方針を決定しても、施行細則の決定や取り締まりは州政府が行うことになる。各州の規制や運用が異なる場合、インド全土で展開する小売店などは、各州ごとの規制に対応する必要が生じ、混乱が予想されることから、今後、反対意見が強まってくる可能性がある。

またインドでは、食品の保存状態が悪く、食品の約30%が物流段階で劣化し廃棄されているといわれており、フードロスが大きな問題となっている。インドの一人当たりのプラスチック使用量は欧米諸国の10~15%程度と少ないことから、プラスチックの禁止の前に、プラスチック製品などで食品をきちんと包装して保管・運搬し劣化を防ぐことを優先すべきとの声も多く、インド全土での使い捨てプラスチックの使用禁止は簡単には実現しそうにない。 【今村弘史】